

(株)東芝 大分工場 サイトレポート情報

所在地 : 大分県大分市大字松岡3500番地

敷地面積 : 383,000m²、建家面積 : 247,000m²、緑化率22.1%

設立 : 1970年7月、正規従業員:2,516人(2009年3月末現在)

主要製品 : システムLSI、マイクロプロセッサ、標準ロジック、CMOSセンサー

ISO14001認証取得 : 1996年2月、最新更新(統合)年月 : 2008年8月

ISO14001認証番号 : EC98J2014



サイトの紹介

(株)東芝大分工場は、松岡地区の恵まれた自然環境の下、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、半導体製品の提供を通じて社会に貢献することを目指しています。また、当工場ではパソコン周辺機器、携帯電話等の通信機器、AV機器そして最先端ゲーム機に搭載されるICチップを製造しています。



工場長 衣川 正明

2008年度の環境の主な取組み

☆**化学物質排出量の削減** (目標達成)

薬品のライフアップ等を実施し、化学物質(VPE物質)排出量96.2トンの。(自主基準目標値:162トンの以下、達成度168%)

☆**温室効果ガス排出削減量の積上げ**(目標未達、使用量減少のため)

除害装置設置により、1.52GWP千t削減。(自主基準目標値:4.18 GWP千t削減、達成度36%)

☆**CO₂削減量の積上げ** (目標達成)

省エネ施策により、CO₂(エネルギー起源)を10,498t-CO₂削減。(自主基準目標値:9,656t-CO₂削減、達成度109%)

☆**廃棄物ゼロエミッションの継続** (目標達成)

廃棄物ゼロエミッション(最終処分率)の0.02%(目標0.1%以下)。

☆**水資源受入量の削減**(目標達成)

純水等の削減を実施し、8,574千m³受入(自主基準目標値:12,420千m³以下、達成度144%)

☆**資材取引先に関する環境配慮**

取引先に指導・支援(新規取引先55社)、廃棄物委託先現地確認(10件)

☆**全員参加・啓発活動の展開**

割箸の回収による紙へのリサイクル、アルミ缶回収収益金による里山整備資金寄付、環境3大行事の実施。

☆**地域との協調**

大分工場独自活動「Eco楽集会」、小中学校環境出前授業実施。秋祭りで3R推進等の参加。

☆**社外団体からの表彰**

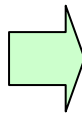
「平成20年度省エネルギー事例発表九州経済産業局長賞」受賞。

製品、環境技術開発紹介

大分工場の半導体はテレビやDVDなどの家電製品は勿論、最先端のゲーム機や携帯電話などに組み込まれています。



システムLSI



環境コミュニケーションの紹介

大分工場は環境に優しい最先端の半導体製造工場を目指すと共に環境保全の取組みを工場経営の最重要課題の一つと位置付け、社会貢献と、より安心感のある工場の実現に努めています。

この考えに基づき、「安心感」を大分工場より発信することで、東芝全体が「環境配慮」に努めている企業であることを、地域社会や未来を担う子供たちへ伝える事を目的に独自で「Eco楽集会」を開催し、地域の方々や小学生・大学生を招いています。又、「小中学校環境出前授業」を3年前から実施して環境保全の大切さ等を伝えています。



出前教育の風景

東芝 セミコンダクター社 大分工場 環境方針

－理念－

大分工場は、「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会へ貢献します。

－方針－

大分工場は、東に全国有数の清流大野川、西に市民の集うサッカースタジアム、という環境に囲まれた場所に立地しており、この豊かな環境に配慮することが私達の使命であると考えています。そのため、環境保全への取り組みを工場経営の最重要課題と位置づけ、調達から製造、廃棄に至るまで、省エネ・省資源により環境に配慮した製造活動で社会貢献に努めていきます。また、イノベーションを起こすべく常に課題を持ち新規活動の発掘を推進します。

- (1) 環境活動レベルの向上を図るため、事業活動、製品及びサービスにかかわる環境影響を評価し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定し、継続的改善及び汚染の予防に全員で取り組みます。
- (2) 法令、協定、当工場が同意したその他の要求事項及び自主管理基準など当工場の環境側面に適用可能な事項を遵守します。
- (3) 環境保全活動を推進するため、従業員並びに常駐会社が活動できる体制を整備します。
- (4) 当工場は積極的に以下の項目について推進します。
 - ① 温室効果ガスの排出量削減
 - ② 廃棄物の排出量削減
 - ③ 化学物質の使用量及び排出量削減
 - ④ 水資源受入量の削減
 - ⑤ 環境負荷低減によるコスト削減
 - ⑥ 資源の有効利用
 - ⑦ 環境保全意識の向上
 - ⑧ 地域環境とのコミュニケーション
- (5) 各職場の本来業務に直結した環境保全活動を推進します。
- (6) 方針の達成のため、当敷地内で働く全ての人、及び取引先へも周知して理解と協力を要請します。



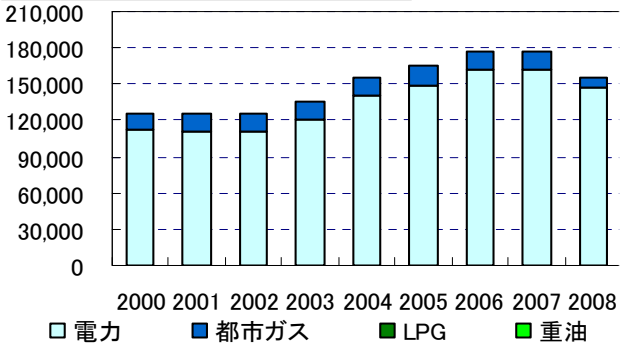
2009年 4月 10日
大分工場長 衣川 正明



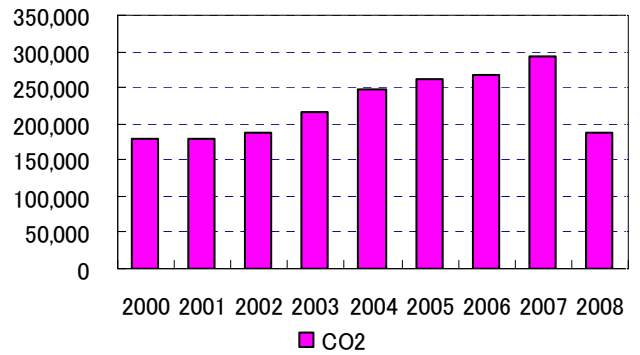
この方針は、当敷地内で働く全従業員及び組織のために働く全ての人、並びに一般の人にも開示します。

環境負荷データ

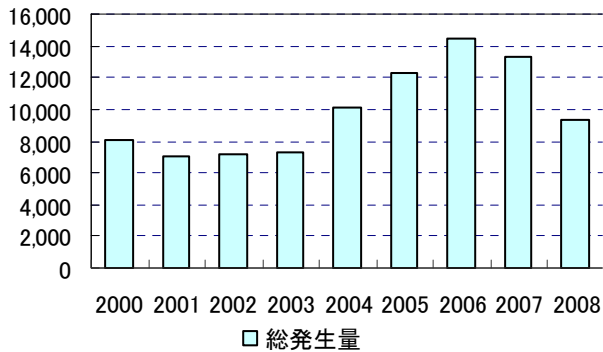
エネルギー使用量 (単位:kL)



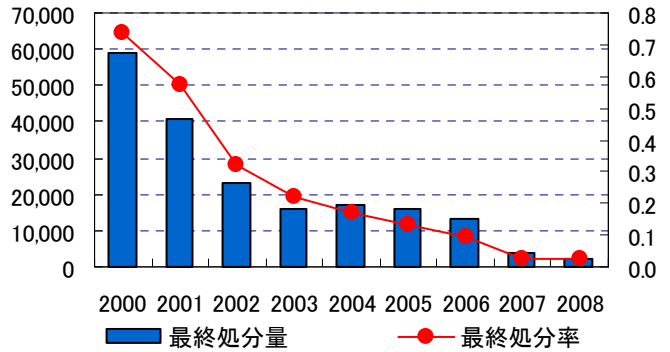
CO₂排出量 (単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位:トン)

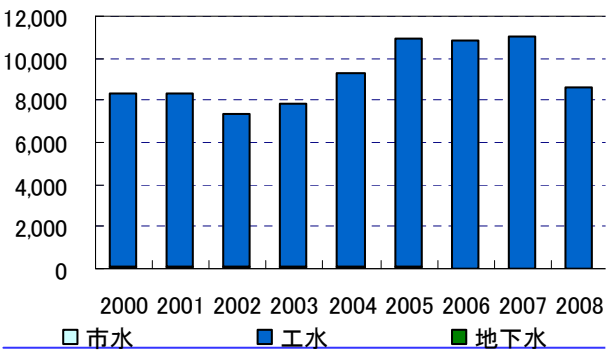


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位:kg, %)

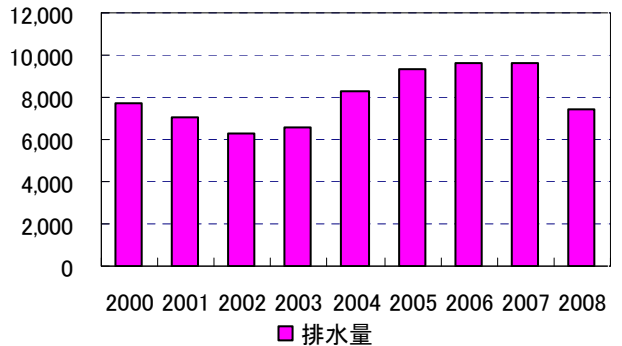


主な廃棄物名: 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ等

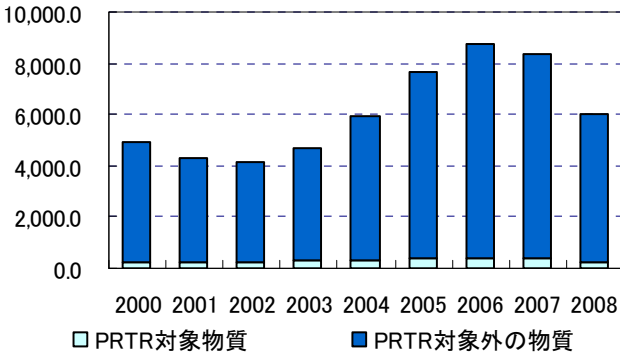
水の使用量 (単位:千m³)



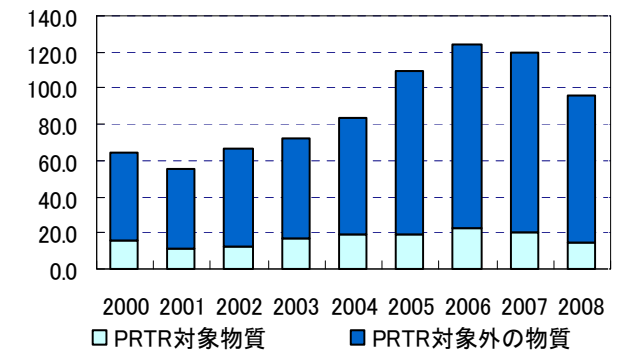
排水量 (単位:千m³)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移 (トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移 (トン)



主な化学物質: 硫酸、塩酸、消石灰、過酸化水素、フッ酸等

遵法管理状況

大気測定結果(多管式ボイラー、ガス冷温水機)(都市ガス使用)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NO _x (Nm ³ /h)	6.6(協定値)	6.239	1.768	年2回
SO _x (Nm ³ /h)	2.2(協定値)	0.043	0.002	年2回
ばいじん(kg/h)	0.6(協定値)	0.328	0.021	年2回

排水測定結果(主な測定結果)(酸又はアルカリ表面処理施設、排ガス洗浄施設)、河川(北鼻川～乙津川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6(協定値)	6.2～8.2	7.0～7.5	週2回
BOD(mg/ℓ)	6(協定値)	3.0	1.5	週1回
COD(mg/ℓ)	6(協定値)	3.0	2.2	週2回
SS(mg/ℓ)	9(協定値)	4.0	3.2	週1回
窒素(mg/ℓ)	15(協定値)	7.3	6.3	週2回
フッ素(mg/ℓ)	8.5(協定値)	4.0	2.8	週2回

騒音・振動測定結果(特定施設(騒音(送風機、圧縮機)、振動(圧縮機)))

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	60(騒音規制法)	56	52	年6回
	敷地境界:夜	50(騒音規制法)	49	49	年6回
振動(dB)	敷地境界:昼	60(振動規制法)	45	30未満	年1回
	敷地境界:夜	55(振動規制法)	45	30未満	年1回

その他測定結果(下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	該当なし	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	該当なし	—	—	—
SS(mg/ℓ)	該当なし	—	—	—

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし